

「馬印の氷砂糖」の販売につきまして、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

5月も中旬となり、青梅の出回りもいよいよ間近にせまってきました。今回は和歌山県南部地区と群馬県榛名、箕郷地区を視察してまいりましたので、その作柄状況についてお知らせ申し上げます。また、冰糖出荷につきましては、青梅の出回りに合わせ万全の準備を致しておりますが、ご注文の集中が予想されるため、お早めの指図をお願い申し上げます。

梅の状況

和歌山県

結実後の天候は、適度の日照、降雨量もあり順調に推移しております。果実の肥大状況は、昨年より約一週間遅く、5月9日現在2~3cmの大きさまで生育しています。生理落果はほぼ終了し、着果数が少なかったため、落果数も少量でした。4月24日の着果調査では、前年比87%とやや少なく、地域、園地、樹体間で極端なバラツキがあります。水田転換園等の平野部が良く、2月低温期に満開を迎えた山間部、北向き園地は悪い傾向となっています。昨秋の落葉が早く、木に十分な養分を蓄積していないのも要因として考えられます。

J Aでは現時点での収穫量は前年比90%を見込んでいます。出荷時期は量販店の売出しとの兼ね合いもあり、昨年よりやや遅い5月24日頃には始まります。着果数が少ないため、大玉傾向になると思われます。

梅干は中国輸入品減少により過剰在庫が解消され、価格も一割程持ち直しております。農家は高値を期待して梅干用で手持ちするか、青梅として早く換金するか迷いどころです。ただ、J Aとしては梅販売の将来を展望して梅干以外での拡売に力を注いでおり、青梅としての出荷割合を増やすよう指導しています。

群馬県

和歌山同様、開花、結実時期とも昨年より約一週間遅れで迎えています。毎年みられる降ヒョウの被害もなく、順調に生育しており、現在2cm前後の実を付けています。着果状況は地域により多少のバラツキがみられるものの、全体的には良好で、昨年より1~2割多いようです。群馬では梅干の割合が低く、中国輸入梅の影響はほとんどありません。また、市場出荷量の約80%が関東圏に安定して流れており、昨年より出荷量が上回ることが期待されます。出荷時期は小梅が5月25日頃、主力の白加賀が6月早々の予定です。

和歌山県 2008年5月9日撮影



群馬県 2008年5月12日撮影



長期陳列のお願い

和歌山南高のピークは6月中旬で、末までは収穫されます。また地場の梅は遅く、例えば中部地区では6月中旬過ぎが収穫時期になります。一部量販店では6月中旬頃に梅コーナーを引き揚げられることがあります。販売チャンスをロスしないよう長期陳列のアドバイスをお願いします。

コンテナ出荷リードタイムのお願い

昨今、環境に対する意識の高まりと、原油価格高騰により大口配送がトラック輸送からコンテナ輸送に移行し、コンテナ不足及び鉄道輸送量過多の状況です。よって従来通りのリードタイムでは配送が困難な状況であります。つきましては、コンテナ出荷において余裕を持ったご注文を頂きますようお願い申し上げます。

販促

梅シロップ教室、マネキン試飲
5/24~6/15 全国各地の量販店で実施

全日本冰糖工業組合PR
梅シロップテレビパブリシティ
全国各地30局のテレビ情報番組内で、梅シロップに関する内容を放映
全日本冰糖工業組合ホームページ (5/20頃開設予定)
<http://www.hyoutou-kumiai.jp>

ホームページのご案内

〔パソコン用〕 <http://www.nakahyo.co.jp/>

〔携帯用〕 <http://www.nakahyo.co.jp/i/>

弊社南濃梅園



弊社ホームページ(パソコン用)にて、南濃梅園の生育状況を二週間毎にお知らせしています。ぜひ一度アクセスして頂き、冰糖販売のご参考にして頂ければ幸いです。

本年も引き続き梅酒、梅シロップのPRを積極的に行い、消費の拡大につなげていきたいと考えています。何卒、従来にも増して「馬印の氷砂糖」のご愛顧をお願い申し上げます。

2008年5月15日撮影

